

## 第 10 回理事会議事録

1. 日時 : 2013 年 6 月 28 日 (金) 午後 6 時 30 分～8 時 40 分
2. 場所 : 東京都新宿区四谷 1-13 虎ノ門実業会館四谷ビル 2F
3. 出席者:【出席 10 名】 鳩山勝郎、山口知也、兼岩芳樹、神代高弘、齋藤陽子、  
島村京子、寺本直志、中谷忠義、平田眞、山田和彦  
【欠席 3 名】 細田博之、ロバート・ゲラー、久富浩  
【監事 2 名】 大泉紘一、成田秀則 (水谷建監事は欠席)  
【事務局 3 名】 大政事務局長、清水普及事業部長、鈴木競技会事業部長代行  
【オブザーバー 1 名】 宮内宏顧問弁護士  
(理事現在数: 13 名、定足数 7 名、本人出席 10 名)

### 4. 議事の経過及び結果

鳩山勝郎会長代行を議長に、議題を逐一審議した。

第 1 号議案 第 9 回理事会議事録案の承認について  
議事録案を承認した。

第 2 号議案 正会員の承認について  
以下の会友より提出された入会申請につき審議を行い、これを承認した。  
水田実 (会員番号 136015)

第 3 号議案 公認クラブ申請について  
以下の新設及び会場移転申請について審議の上承認した。  
・福岡ブリッジプラザ (新設、クラス 2/3、オープン)  
マネージャー: 友枝善穂  
ディレクター: 高野和生  
開催日: 毎週月～金曜 13:30～  
会場: 福岡ブリッジプラザ  
(福岡市博多区博多駅前 2-12-3 HAKATA エフビル)  
・静岡ブリッジクラブ (会場移転)  
会場: エスパティオ 4 階 (静岡市駿河区南町 14-15)

第 4 号議案 各委員会及び事業部報告

#### 1. 企画委員会

山田企画委員長より 5 月 17 日および 6 月 18 日に開催された企画委員会

において検討された会友会費改定の内容について説明があった。

現在の会友会費は

- 1.種類が多く、新規入会の際に自分がどの資格に該当するかわかりにくい。
- 2.現在首都圏、愛知県、関西地区を除く道県在住者を地方会友としていますが、居住地区によってはかなり違和感がある。また、地方会友間の交流や、首都圏、関西、名古屋地区の競技会に参加する機会も増えている。
- 3.年度途中入会者の月割り計算が1月あたり年会費の10分の1としていたため、途中入会が割高となっている。

などの問題点があり、企画委員会及び会費制度検討WGにおいて検討の結果、以下の通り会友会費の改定を提案する。

また、セクショナル競技会のシニア割引が昨年度2,550万円に達しており、今後連盟の財政に大きな影響を与える可能性があるため、来年度からシニア割引を取りやめ、シニアの会費を減額する。

- 1.会員については現状どおりとする。
- 2.会友については「会友A」（6,000円）、「会友B」（3,000円）の2種類に簡素化する。
- 3.居住地域や家族構成による会友会費制度を廃止し、「会友B」の対象者は3月31日現在70歳以上のシニア会友および4月1日現在26歳未満のユース会友のみとする。
- 4.団体会友、海外会友、地方会友、家族会友は廃止し、原則として「会友A」に移行する。
- 5.上記の改定は平成26年度年会費から適用することとし、事前に十分周知を行う。

大幅な会費値上げとなる地方会友、家族会友に対して経過措置として、以下の提案を行い、理事会において決定するものとする。

- A) 平成26年から2年間「会友B」の会費を適用する。
- B) 特定道県の会友について会費を3,000円とするキャンペーンを実施する。
- C) 地方クラブへの支援として地方クラブ会友に対して3,000円を上限とした競技会参加料の割引を実施する。また地方クラブに会友会費を還元するなどの措置を取る。

上記の説明に対し、中谷理事から現状では地方会友は競技会への参加者数が減少しており、会費制度単純化のための値上げは理由にならず、このまま地方会友会費を6,000円に値上げすると地方のブリッジは壊滅的

な打撃になることが予想されるため、地方会友の値上げについては反対すると発言があった。

兼岩理事および平田理事より経過措置を取らず、地方会友を会友 B とする提案があった。

島村理事より現在地方会友の適用地域を都道府県で区分しているが、市町村単位とする提案があった。

検討の結果、セクショナルのシニア割引は提案通り来年度から廃止することを決議し、家族については提案どおり会友 A、地方については会友 B として会友会費制度全般について承認し、地方会友適用の線引きの見直しを含めた会報原稿作成について、事務局で検討し役員に連絡することに決定した。

## 2. 代表選抜委員会

APBF 選手権で獲得したオープン、ウィメン、シニアの世界選手権への出場について、代表選抜委員会より以下のメンバーの指名があった。

### ・オープン

NPC: 高崎恵 (PC 陳大偉から変更)、井野正行、陳大偉、寺本直志、加来浩、古田一雄、高山雅陽 (平田隆彦から変更)

### ・ウィメン

NPC: 中谷忠義 (NPC 小池和人から変更)、島村京子、大野美智子、西田奈津子、柳澤彰子、福吉由紀、佐藤牧子

### ・シニア

PC: 大橋正幸 (PC 森村俊介から変更)、森村俊介、今倉正史、阿部弘也、大橋正幸、山田彰彦 (追加)、大野京子 (追加)

ウィメン NPC に指名された中谷理事より、代表選手規則に記載されたキャプテンの任務のうち、ディフェンシブビッドの準備、練習会の設定などは対応が困難であるため、チームメンバーと合意した範囲内のみ任務を行う事の承認を求める発言があり、検討の結果、チームメンバーとの合意により、NPC の任務の一部をチームメンバーに委託することができることを確認し、今後シニア NPC への助成を含めて規則の見直しを行うことに決定した。

各チームのキャプテンおよびメンバーについてもこれを承認した。

APBF 選手権で優勝したオープン、ウィメンチームの NPC を含めたメンバー全員に報奨金を支払うことを承認した。

## 3. 競技委員会

寺本競技委員長より 5 月 29 日開催の競技委員会についての説明があった。ワーキンググループ編成について中谷理事より、自分は前年度 IMP 及び

MP・SP ワーキンググループのメンバーであったが、今回リストに載っていない理由を尋ねる発言があり、寺本委員長より次回委員会で対応するとの回答があった。

神代理事より、これまで連盟主催の競技会は連盟職員を中心に運営が行われてきたが、外部のナショナルディレクターに運営を委託する事が多くなってきたため、業務報告の提出を求める提案が、また、中谷理事より外部のディレクターに対して運営の指示を明確に文書化する提案があり、今後対応することに決定した。

#### 4. ルール委員会

宮内ルール委員長より 5 月 9 日に開催されたルール委員会について報告があった。

#### 5. 普及事業部

清水普及事業部長より普及事業部活動状況報告があった。

ゲームマーケット 2013 東京においてブリッジ体験コーナーを開催し、88 名の参加があった。

東京女子大園遊会体験コーナー、エバーグリーンテニスクラブ体験・入門講座、修道オープンアカデミー入門講座、福岡市立青年センター「くうきプロジェクト」体験コーナーの開催に協力した。

今秋のブリッジセンターが開催する体験教室および入門講座の告知広告を行う。

前回理事会において指摘のあった、飛鳥クルーズでのブリッジ講座への参加者が少なかった件について、クルーズの参加者が 2012 年はアジアクルーズで 619 名、2013 年はオセアニアクルーズで 498 名と参加者数の減少により、相対的にブリッジ講座の参加者も減少したと報告があった。

#### 6. 競技会事業部

鈴木競技会事業部長代行より競技会事業部活動状況及びダイヤモンドライフマスター1名、ゴールドライフマスター2名、シルバーライフマスター4名、シニアライフマスター33名、ライフマスター26名の資格取得者の報告があった。

#### 7. 国際交流事業部

中谷国際交流担当理事より、APBF 香港大会ではオープン、ウィメンのダブル優勝となり、NEC 杯、Yeh Bros 杯を通して世界のトップレベルとの対戦経験が実を結んだと思われると発言があった。

APBF 香港大会代表者会議について、以下の報告があった。

- ・ 8 月 19～25 日に中国武漢で開催の APBF ユース選手権は U26:9、U21:7、ガールズ:6 の計 22 チームの参加があり、日本からは U26、U21 に

参加する。

- ・第2回アジアカップは2014年6月に中国山東省または江蘇省で開催の予定。中国で開催できない場合はインドネシアで開催する。APBF選手権は2014年には開催されない。
- ・2015年第50回APBF選手権はタイで開催の予定。第2回アジアカップ及び第50回APBF選手権はユース部門を併催する。
- ・WBF会長より来年以降の世界選手権およびユース選手権の、暫定も含めた開催地の報告があった。
- ・APBF同時大会を2013年11月から2014年4月にかけて開催する。これまで原則として第1週の金曜、土曜であったが、第2週の金曜、土曜開催となった。今年から参加国をAPBFゾーンに限定せず、同時大会の集計を行うEcatsからAPBF以外の国にも参加を呼びかける事になった。
- ・APBF選手権シニア参加チーム数は1ヶ国あたり2チームまたは3チームまでとし、主催国が上限のチーム数を決定することになった。
- ・これまでAPBF選手権には連盟からスコア集計スタッフを派遣してきたが、今回の香港大会ではラインアップ入力と途中及び結果表示にインターネットを使ったシステムを採用し、現状のJTOSだけを使った集計では今後のAPBF選手権に連盟がスコア要員の派遣及び運営協力を提案できる状況ではなくなっている。このため今回ウイメンのNPCであった小池和人氏に香港大会と同機能のシステム開発の見積を依頼したところ、53万円の開発費用の提示があり、検討の結果、2014年2月のNECブリッジフェスティバルまでを期日として、小池氏に開発を依頼することに決定した。

インド、ニューデリーのDelhi Gymkhana Clubが9月6日から8日に開催するCentenary Bridge Tournamentへの日本チーム招待の申し出があり、寺本理事より、古田一雄、三浦裕明、小林泰、高野英樹、河野誠の5名が参加するとの報告があった。連盟への招待であるため、航空券の一部を助成したいとの提案があり、検討の結果1人5万円、計25万円を助成することに決定した。

その他、APBF香港大会の成績表、NECブリッジフェスティバル及びYeh Bros杯の収支報告書、NEC杯・Yeh Bros杯のニューヨークタイムズ記事、APBF選手権のキャプテン報告の提出があった。

## 第5号議案 その他の議案

### 1. 次回の理事会開催について

次回理事会は2013年8月30日（金）18時30分より開催する。

当日配布書類：第 4 号議案「2013 年世界選手権日本代表の指名について」

「ルール委員会議事録」

「APBF オープンチームキャプテン報告」「APBF ウィメンチームキャプテン報告」

「リアルタイムスコア表示システム見積書」

平成 25 年 6 月 28 日（2013 年）

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

第 10 回理事会

代表理事 鳩山 勝郎

監 事 大泉 紘一

監 事 成田 秀則